

第75回 “社会を明るくする運動”

福井市推進大会



■ 日時 令和7年7月27日(日) 会場受付 14:30 ~

■ 場所 フェニックス・プラザ2階「小ホール」

主 唱 / 法 務 省

主 催 / 社会を明るくする運動 福井市推進委員会

委員長(福井市長) 西行 茂

福井地区保護司会(主管)・福井市自治会連合会・福井地区協力雇用主会

福井市更生保護女性連盟・福井地区BBS会

共 催 / 福井保護観察所・青少年育成福井市民会議

福井市連合婦人会・福井市子ども会育成連合会

福井市補導員連絡協議会

後 援 / 福井市教育委員会・福井新聞社・FBC福井放送・福井テレビ

FM福井・福井ケーブルテレビ・さかいケーブルテレビ

第75回 “社会を明るくする運動”

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～



“社会を明るくする運動”は、すべての国民の皆様が、犯罪・非行の防止と立ち直りの支援についての理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、明るい地域社会を築くための全国的な運動です。昭和26年に始まって以来、多くの方々の御賛同・御協力を得て、今年で75回目を迎えました。

犯罪や非行の背景には、望まない孤独や社会の中での“生きづらさ”が存在していることが少なくありません。また、過去の過ちから立ち直ろうとする人々には、十分な時間と地域の中での居場所が必要です。悩める方々に寄り添い、互いに相手を受け容れることが、安全で安心な明るい社会の実現につながります。

こうした観点から、私たちが暮らす地域では、保護司や協力雇用主を始めとする「更生保護ボランティア」の皆様が、社会復帰を目指す人々を身近で支え、その再出発を助けています。政府においても、再犯防止のための就労支援、保護司等との連携強化、町ぐるみの防犯活動の促進などに取り組んでいます。

この運動を通じて、より多くの国民の皆様は、立ち直り支援の活動を知っていただき、協力の輪が広がっていくことを期待いたします。併せて、「人は変わる」と信じ、それを待つことの大切さについても、御理解をいただければ幸いです。「幸福の黄色い羽根」のもと、多様な背景を持つ人々が、理解し合い、支え合うことによって、犯罪や非行のない明るい地域社会が実現するよう取り組んでまいりますので、国民の皆様の御協力をお願い申し上げます。

内閣総理大臣

石破 茂

第75回 “社会を明るくする運動” 福井市推進大会 次第

と き 令和7年7月27日(日) 15:00～
ところ フェニックス・プラザ「小ホール」

〈第1部〉

1. 開会の言葉 福井地区保護司会会長 折目 幸太郎
2. 大会委員長あいさつ “社会を明るくする運動”福井市推進委員会
委員長・福井市長 西行 茂
3. 退任保護司への感謝状贈呈
4. 来賓祝辞 福井保護観察所長 柳沢 真希子
福井市議会議長 田中 義乃
5. 登壇者紹介
6. 内閣総理大臣メッセージの伝達
福井保護観察所長から福井市議会議長へ
7. 大会宣言 福井市更生保護女性連盟会長 坪田 文枝

〈第2部〉

8. 特別記念イベント「音楽と朗読のひととき」

朗読 “社明運動”全国作文コンクール最優秀作品
福井市成和中学校放送部

演奏 吹奏楽団「ハーモニーあそびアンサンブル」

9. 閉会の言葉 福井市自治会連合会会長 山崎 栄一

こんにちは！
成和中学校放送部です。



今年度は3年生3人、2年生7人、1年生13人で活動をしています。

給食時のテレビ放送や、清掃時・下校時の連絡放送だけでなく、体育祭など学校の放送に関わることを行っています。学校行事や様々な部活動の取材・映像編集・OAもしています。また地域の行事でも司会や街頭宣伝車で流すナレーションを務めています。

普段の部活動では、福井市部活動指導員（福井地区保護司会東部支部保護司）に発声・発音・アナウンスや朗読を指導していただいています。他にも機材の操作や映像編集などを学んでいます。

NHK 放送コンテストでは16年連続で福井県代表となり全国大会に出場しています。今年度も6月中旬に福井県大会があり、今は全国大会に向けてブラッシュアップをしているところです。

今日は部員の中から2年生2人がこの大会に参加させていただきます。よろしくをお願いします！



ハーモニーあそうづアンサンブル

福井市が提唱した「うらがまちづくり推進事業」により、平成7年9月に麻生津地区を本拠地とする吹奏楽団として結団し、令和6年に結団30年を迎えました。

団員は職業や年齢、楽器の経験もさまざま、麻生津地区内外から集まり、「音楽が好き」「演奏が好き」「地域の文化活動に貢献したい」という想いを共にして練習に励んでいます。

毎年「ハーモニーホールふくい」にて定期演奏会を開催しており、昨年は第30回の記念公演を開催し、たくさんの方にご来場いただきました。

他にも、夏に開催される「福井フェニックスまつり」をはじめ、福井市内外の多岐にわたるイベントに参加し演奏を聞いていただいております。

これからも、子どもからお年寄りまで親しみ楽しんでもらえる楽団であり続けられるよう、芸術的・技術的レベルの向上を図り、地域にハーモニーの和と輪を広げるべく、多彩な活動を続けていきます。

なお、随時団員を募集しておりますので、私たちと一緒に演奏してみたい方がおられましたら、ご連絡をお待ちしております！！

連絡先メールアドレス：h.asouzu.e@gmail.com



大会宣言(案)

“社会を明るくする運動”は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と、あやまちを犯した人たちの立ち直りについて理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動として昭和26年に始まり、本年は75回目という節目の年を迎えます。

振り返りますと、昨年は、「想う、ときには足をとめ。」をメインコピーとし、高度に情報化された現在社会において、「待つこと」「時間をかけること」の価値に焦点を当てて取り組んでまいりましたが、もとより私たち更生保護に関わる者にとって、「寄り添い」「待つ」という行為は、立ち直ろうとする人に光を見出し、その将来に見える希望を信じているからこそできる行為であることは言うまでもありません。

ちなみに、第75回運動は、「Time with Hope-進む、希望とともに。」をメインコピーに掲げられました。

立ち直ろうと努力する人たちと、そのような彼らが変わっていくことを願って、寄り添い、ともに歩み続ける更生保護ボランティアの存在を広く市民の皆様にご存知いただくほか、「人は変わる」ということを信じ、希望をもって受け止めるとともに、一人ではどうにもならない“生きづらさ”を抱えている人たちの“生きづらさ”に思いを馳せ、そばに寄り添い、人と人が互いに見守り、支え合う地域社会を実現することは、私たちみんなの責務です。

この熱い思いを、「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ」として、より一層多くの市民の方々に広げようではありませんか。

第75回“社会を明るくする運動”福井市推進大会が開催されるに当たり、私たちは、すべての人がともに暮らせる安全で安心な明るい地域社会を実現するため、なお一層努力することを誓います。

令和7年7月27日

第75回“社会を明るくする運動”福井市推進大会

“犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ”



第75回“社会を明るくする運動”について

行動目標

- ・犯罪や非行を防止し、新たな被害者も加害者も生まない安全で安心して暮らすことができる明るい地域社会を築くこと
- ・犯罪や非行をした人が再び犯罪や非行をしないように、その立ち直りを支えること

重点事項

急速に変化する社会の中で、孤独・孤立や生きづらさを抱えながらも、過去の過ちから立ち直ろうとする人を再び地域に受け入れることにより、多様な背景を持つ人と人が緩やかに繋がりつつ共に支え合う包摂的な地域社会を実現できるように、次のことに力を入れて取り組む。

- (1) 誰もが抱える問題が犯罪や非行の要因となりうることや、人は変われるということを感じて寄り添い続ける更生保護の活動は、再犯を防止して立ち直りを支える大切な活動であるとともに、新たな被害者も加害者も生まない安全で安心な社会づくりにつながることに、国民の各層に広く周知し、理解を深めてもらうための取組
- (2) 犯罪や非行の防止や、犯罪や非行をした人の立ち直りには様々な協力の方法があることを示し、多くの人に協力者として気軽に参加してもらうための取組
- (3) 同じ地域社会の一員である保護司、更生保護女性会会員、BBS会員、協力雇用主等の活動に対する支援の充実を図るほか、「国際更生保護ボランティアの日」と連動させた積極的な広報等により、更生保護ボランティアを増やすための取組
- (4) 民間協力者と地方公共団体と国との連携を強化しつつ、犯罪や非行をした人が、仕事、住居、教育、保健医療・福祉サービスなどに関し必要な支援を受けやすくするためのネットワークを作る取組
- (5) 犯罪や非行が起こらないよう、子どもや若者の健やかな成長を期する取組

刑期を終えて出所した人などの社会復帰を支援する相談窓口

更生保護サポートセンター福井



- 刑期を終えて出所した人などから就労、住居、福祉サービス等についての相談
- 更生保護や再犯防止活動に関する相談

例えば

犯罪をした人達を雇用

ボランティアで犯罪をした人達への支援をしたい。

刑務所を出所したが、仕事先はないだろうか。

などの相談に応じます。

犯罪をした人等に対しても、差別することなくアパートを提供したい。

- 開所日 月曜日～金曜日
(祝祭日および年末年始を除く。)
- 開所時間 午前10時～午後4時
- 場所 福井市大手3丁目12-20
- 電話番号 0776-30-1011



運営団体 地域拠点ネットワーク福井

再出発しようとする人たちの現状を見てみると・・・

国内で検挙された人のうち
再犯者 **約2人に1人**



刑務所出所後5年以内に再び罪を犯して
刑務所に戻る人の割合 **約3人に1人**



刑務所出所時に住む場所がない人の割合
約7人に1人



犯罪や非行からの再出発を支える地域の**5**つの仕組み

2 帰る場所がある

更生保護施設

刑務所等を出た後、帰る場所がない人たちに宿泊場所や食事を提供し、自立に向けた生活指導を行う民間の施設です。



更生ペンギンの
ホコちゃん

更生ペンギンの
サラちゃん

1 相談できる人がいる

保護司

犯罪や非行により「保護観察」を受けることになった人の生活を見守り、様々な相談にのったり、指導をしたりしています。犯罪を予防するための地域活動などにも取り組んでいます。



3 働く場所がある

協力雇用主

犯罪・非行歴のため仕事に就くことが難しい人たちを、その事情を理解した上で雇用し、立ち直りを支援する事業者です。



5 優しく見守る人がいる

更生保護女性会

女性の立場から、地域における犯罪予防の活動や子どもたちの健全育成のための活動、子育て支援活動などを行うボランティア団体です。



4 先輩・友人がいる

BBS会

様々な問題を抱える少年に、兄や姉のように身近な立場で接することで、少年の成長を助ける青年ボランティア団体です。



“社会を明るくする運動”

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

“社会を明るくする運動”は、すべての国民が犯罪や非行の防止と、犯罪や非行をした人の改善更生について理解を深め、犯罪や非行のない明るい地域社会を築くための全国的な運動です。

毎年7月は、“社会を明るくする運動”の強調月間及び再犯防止啓発月間です。

お問い合わせは
お近くの保護観察所まで



法務省保護局
公式X



法務省保護局
公式Instagram



法務省公式YouTube
チャンネル



“社会を明るくする運動”
ウェブサイト



リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。